

令和 5 年度 島根大学 秋季学位授与式 式辞

本日、ご卒業を迎えられました 3 学部の卒業生計 14 名、修了されます大学院 3 研究科の修了生計 9 名の皆様、そして関係者の皆様、ご卒業・修了、おめでとうございます。島根大学の役員、教職員、そして、在学生を代表して心よりお祝い申し上げます。

皆さんは、それぞれの夢や想いを叶えるために島根大学で学ぶことを選び、入学されました。入学されてからは新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続き、皆さんの修学や学生生活に大きな影響がありましたことを残念に思います。特に、留学生にとりましては来日が困難になったり、また、来日後も慣れない環境での感染拡大の事態に不安な日々を過ごされたりと、ご苦労されたことと思います。このように厳しい環境の中で、皆さんが専門領域への興味・関心、そして、学びに対する強い意欲を持ち続け、日々努力を積み重ねることにより、所定の教育課程を修められましたことに敬意を表しますと共に、本日、学位を授与されますことを心よりお慶び申し上げます。

皆さんには、在学中に指導を受けた教員、ともに人生を語り、悩みを相談し、勉学に切磋琢磨してきました友人、そして様々な場でご支援頂きました地域の方々や、皆様のご成長を暖かく見守って下さいましたご家族等、多くの方のご支援、関わりの中で卒業、修了の日を迎えられました。これまで支援頂いた方々に対する感謝の気持ちを忘れずに、新たな道を歩まれることを願っています。

さて、今年は過去 126 年で最も暑い夏であったとのことですが、世界各地でも異常に暑い夏であり、地球沸騰化のフェーズに入ったとの報道もありました。いよいよ地球温暖化、カーボン・ニュートラルへの対策は喫緊の課題になってきました。さらに、エネルギー課題や生成 AI の出現等による高度情報化社会への対応等、地球規模の複合的で多様な課題に私たちは直面しています。例えば、生成 AI に関しましては、定型的業務の代替に留まらず、人間しかできないと考えられてきたクリエイティブな活動にも相当程度適応できるようになってきました。生成 AI がこれまでの仕事の在り方や生活自体を大きく変える可能性が大きくなっています。さらに、生成 AI を悪用されたり、社会基盤の整備の遅れにより発生したりするリスク等も指摘されるなど、生成 AI 開発の進展に合わせた社会的インフラを早急に整備する必要性に迫られています。

先に述べた課題のように、イノベーションを起こす優れた科学技術であってもその利便性と共に、重大なリスクも包含し得るものです。しかし、リスクの可能性を理由として科学技術の進展を止めるのではなく、想定されるリスクを正當に評価し、それを押さえながら活用していくことが大事なことと思います。先に述べたような課題は、広く、深く、複雑性を増しています。そのため、一つの専門領域で解決することが困難であり、複数の専門分野にわたる広い総合知が必要になってきています。不確実性が高まっている今日の社会情勢の中で、皆さんには新世代をデザイン・構築し、持続可能でより良い社会を実現することが期待されています。皆さんには、島根大学における学びで、専門分野に関する高度な知識・スキルと共に、幅広い多彩な教養、グローバルな感性、コミュニケーション力や新たな価値の創造を導く主体的実践力を修得されました。これらの力を基盤に、更なる広い視野と俯瞰力、そして、様々な事象のつながりを見抜く洞察力を身に付けてください。多様な力によって裏付けられた確かな自己を確立し、将来をしっかりと見据え、果敢にチャレンジし、強固な意志と柔軟な発想力を持って、澁刺とご活躍されることを願っています。

島根大学は70余年の歴史を刻み、64,000余りの同窓生を輩出してまいりました。皆さんには、卒業・修了後も島根の地で結ばれた「縁」を大切に、島根大学や島根県との関わりを持ち続けて頂くようお願いいたします。島根大学は、東京、大阪、名古屋、福岡、広島等国内各地の同窓会の他、海外6カ国にも同窓会があります。是非、同窓会にご参画頂き、学部や年代を超えた島根大学のネットワークをご活用下さい。さらには、島根大学で学ばれた先輩として、後輩のために本学の更なる発展のためにご支援賜れば幸いです。

どのような状況においても、今、出来ることに全力を尽くして下さい。それによって道は拓かれます。人生は解の無い課題の連続です。自ら果敢に挑戦し、切り拓いた道こそが皆さんにとっての正しい解となります。自身が切り拓いた道を、堂々と歩まれることを願っています。

皆さんの輝かしい前途を祝し、また、これまで皆さんの成長を大きな期待を持って支え見守って下さったご家族、関係者の方々へ改めてお祝い申し上げ、学位授与式の式辞と致します。

令和5年9月22日
国立大学法人島根大学
学長 服部泰直